



令和7年6月3日発行

学校だより

第5号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

少欲にして 足るを知る

校長 小澤 託

5月13日に南米ウルグアイのホセ・ムヒカ元大統領が亡くなりました。(生徒の皆さんには、ウルグアイが南米のどの位置にあるのか、どんな国なのか、机に中にあるであろう iPad で調べてほしい…)
皆さんの中にも、名前を聞いたことがあるとか、テレビで見たことがあるという人がいるかもしれません。特に「世界で一番貧しい大統領」として広く知れ渡っており、「世界でいちばん貧しい大統領からきみへ」という絵本や「世界でもっとも貧しい大統領 ホセ・ムヒカの言葉」などの多数の書籍が出版されています。

ウルグアイという国は、経済大国でもなければ、先進国と言われるような国ではありません。しかし、その国の大統領として誇りをもち、自らの考えを国民に対し発信し、引っ張ってきた方です。その発信してきた言葉が素晴らしく、多くの国民の心を打ち、全世界に影響を及ぼしたと言われています。

さて、その数々の言葉の中から何点かご紹介します

- ・「貧しい人とは、少ししか物を持っていない人ではなく、無限の欲があり、さらに、いくらあっても満足しない人のことである。」
- ・「私たちは発展するために生まれてきたのではない。幸せになるために生まれてきたのだ。」
- ・「人生で最も重要なのは勝つことではなく、歩み続けることだ。」
- ・「自由とは、生きるための時間を持つことだ。」
- ・「世界を変えることはできないかもしれないが、自分自身を変えることはできる。」

ふと、自分の生活を振り返ると、必要でもないのに買ったり、すぐ捨てたり…

もっとこうしたい、ああしたい、と不平不満を言ったり、思ったり…することがある。

どうにもならない、と分かっている、あれやこれや…と。

人によって様々な解釈があり、賛同する・しないがあるのは理解しておりますが、少なくともホセ・ムヒカのように、自らのおかれた立場の中で、できること、やれることを精一杯することが、“人”としての幸せにつながるのではないか、と言うのは、納得できますし、理解できます。

日本にも、昔から「欲少なくして、足るを知る」という言葉がありますが、それも、ホセ・ムヒカの言葉と同じ意味ではないかと私は思っています。時代は違いますが、大切にしたい考え方は変わっていないということなのではないでしょうか。

皆さんも、自分の生活はどうか、一度振り返ってみませんか。

心の貧しい人ではなく、心豊かな人であるために…

<体育祭後からの仕切り直し>

切り替えが大事！！

体育祭が終わり、1 週間が過ぎました。

この1 週間でしっかり体育祭モードから切り替えができていますでしょうか？

各ご家庭でも、お子様の様子をご確認いただくと非常にありがたいです。

特に3年生にとっては、少なからず進路に関わってくる期末考査と3年間の部活動の成果を発揮する夏季総体が同時にやってくるわけですから、いつまでも体育祭を引きずってはいただけません。心(頭)と体を5月の時点の自分から切り替えること、体調を崩さないよう、日々の生活習慣をしっかりとすることが大切です。1・2年生にとっても同じことが言えます。大きな行事が終わった後こそ、乱れやすい生活習慣や意識を通常の学校生活のサイクルに戻すこと、期末考査に向かって自らができることに向き合うことが大切です。困難や苦しいことから逃げずに、最善の準備をして考査を迎えましょう。

それぞれの学年の生徒の皆さんに…ちょっとだけメッセージを

<1年生>

本校で3週間の教育実習を行った実習生に、心のこもったメッセージカードやお花をプレゼント。学年全体で、お世話になった東先生(実習生)とのお別れの時間。おそらく、東先生は1年生の皆さんからの素敵なプレゼントに感動したはず。人を喜ばせたいとか、感謝の気持ちを伝えたいという“気持ち”が人を感動させます。そんな“気持ち”“心”をもっともっと大きくしてほしいです！

<2年生>

学校での過ごし方について、学年の先生方からいくつか注意されました。1年生の時と比較したら、授業に取り組む様子、話を聞く姿勢や日々の行動する姿はかなり良くなってきています。でも、ちょっと油断をすると、気が抜けて“まっ、これくらいなら…”という弱い心が出てきてしまいます。弱い心に学年全体で闘っています。ここでしっかりと闘い、目指す3年生の姿に向かって踏み出してほしいです。

<3年生>

受験・総体(大会)、迫りくる試練を乗り越えるべく努力しています。その努力をする日々の積み重ねが自信につながります。そして、その積み重ねが人を大きくします。体育科主任の加藤先生が言っていましたね。“今まで三中でやってきた体育祭で今年が一番だった”と…。先輩として引っ張ってきた皆さんの力です。その力をこれからも存分に発揮してほしいです。

～梅雨の季節～

6月に入り、いよいよ梅雨の季節を迎えます。

暑かったり、寒かったり、また、ジメジメしたりと日によって天候が変わります。せつかくの週末も、雨模様になり台無し、ということもあります(今年はやたらと週末の雨が多い気がします)。

保健だよりや給食だよりなどでもお知らせしておりますが、体調管理には十分に気を付けていただければ、と思っております。手洗いやうがいなど、感染症や食中毒の予防をお願いいたします。